

授業科目名	音楽学の課題	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	2	年次	2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

本講義のテーマは、音楽学とは如何なる学問であり、今日、どういう課題を抱えているのかに迫ることです。音楽学の来し方行く末を理解するために必要な知識を身につけることを目標とします。日常生活に中での音楽との関わりを、学として認識し、論ずることができる能力を身につけることを目指します。

＝履修の条件と学習の方法＝

真摯な態度で、音楽を学び享受できる学生諸君、感性、知性の両面から音楽を楽しみたい学生諸君の受講を求めます。よって、大学生が取るべき受講態度を、必ず実践することを求めます。

講義をするにあたり、高校卒業程度の世界史(特に文化史)の時代区分の知識を前提とします。

ノートは、自分なりの方法で、しっかりとまとめ、復習も充分に行なうことを求めます。

＝授業の概要＝

音楽学は如何なる学問であるのか、今日どういう課題を抱えているのかを講じます。音楽学の来し方行く末を理解するためのテーマに迫り講義を組み立てます。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：講義の目標や内容の確認及びアンケート実施
- 2回 「音楽」とは何か？
- 3回 「音楽」の誕生
- 4回 「音楽学」とは？(1) 広義の音楽学
- 5回 「音楽学」とは？(2) 広義の音楽学の分類
- 6回 「音楽学」とは？(3) 狭義の音楽学／狭義の音楽学と音楽美学の違い
- 7回 「音楽学」とは？(4) 狭義の音楽学の誕生
- 8回 インターミッション
- 9回 「音楽学(狭義)」の発展と広がり(1)
- 10回 「音楽学(狭義)」の発展と広がり(2)
- 11回 「音楽学」と今後の課題(1)
- 12回 「音楽学」と今後の課題(2)
- 13回 予備
- 14回 まとめ
- 15回 テスト(1)
- 16回 テスト(2)

概ねの予定です。学生諸君の理解度により、進度に影響が出ることが多い講義です。

＝テキスト(必携)＝

必要とあらば、プリントを配ります。

＝参考書・参考資料(必携)＝

必要とあらば、プリントを配ります。

=成績評価の方法と評価の基準=

評価は、周到な予習・復習に基づく能動的な授業への参加がなされているか否か、また、その結果としての習熟度がどうであったかで行ないます。つまり、テスト・レポートの成績及び平常点、出席状況を勘案して評価します。

テストは、二部構成で実施します。この2日間の試験を必ず受験してください。

=その他=